

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室



[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [組織活動](#) | [労働組合をつくろう \(組織化基本キーワード⑤\)](#) | [中心となる核メンバーの選定が終了すると、次はどうするのですか?](#)

[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織 \(公務員\)](#)[教育カリキュラム](#)

労働組合をつくろう (組織化基本キーワード⑤) 中心となる核メンバーの選定が終了すると、次はどうするのですか?

中心となる核メンバーの選定が終了すると、次はどうするのですか?

核メンバーによる会合を開き、労組結成の意思統一を行い、準備会発足に向けて準備を進めます。核メンバーによる労働組合の基礎的な学習・教育も併行して行います。

準備会メンバーは、対象組織の職場からくまなく委員が出せるよう検討し、準備を行います。

準備会は何を行うのですか?

結成準備会は、労働組合結成への意思統一を図る。結成大会の準備、組合加入の加入活動、執行部体制、労働組合組織体制の確定、結成妨害への対策、・・・など想定される事象について対策を具体化します。

同時に、支援組織に対する協力要請や企業対策があります。

また、労働組合結成へ自信と確信を持って行動できるように、社会的ルールとしての「労働法」の学習や、労働組合の歴史・基本理念の学習を徹底します。

準備会発足後の「対策委員会」の役割は

対策委員会は、準備会が初期の目的を達成するためのバックアップ体制を取らなければなりません。まず、選定企業の動向調査は片時もゆるぎなく行うことです。同時に、準備員が自信と確信を持って堂々と結成準備に没頭できる環境を作ること、安心感を与える言動と接触に努めること、準備員を一人(孤独)にしない対応を図ること(頻りに連絡接触を)、そして、緊急的措置が取れる臨戦態勢(特に対外的に)を整えることです。組合加入運動が始まれば、組合員へも組織的協力を要請し、組織化の機運を上げることも必要です。

[▶ キーワード検索はこちら](#)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's広場](#)[関連リンク](#)

